

2024年度グッドプラクティス塾

三菱地所の流域を意識した ネイチャーポジティブに向けた取組

三菱地所株式会社

サステナビリティ推進部

松井 宏宇

目次

1. 三菱地所グループとSDGs/ESGの考え方
2. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組
 - ① 下流（事業地）の取組：
お濠の水質浄化・濠プロジェクト
 - ② 上流の取組：
みなかみから始まるネイチャーポジティブプロジェクト

1. 三菱地所グループとSDGs/ESGの考え方

人を、想う力。街を、想う力。  三菱地所

概要

商号	三菱地所株式会社 MITSUBISHI ESTATE CO., LTD.
設立	1937年5月7日
資本金	142,414,266,891円 (2022年3月31日時点)
営業種目	<ul style="list-style-type: none">・ オフィス・商業施設等の開発、賃貸、管理・ 収益用不動産の開発・資産運用・ 住宅用地・工業用地等の開発、販売・ ホテル、空港の運営・ 不動産の売買、仲介、コンサルティング
従業員数	1,093名 連結：11,045名

事業ポートフォリオ

ビル事業

丸の内を中心に、国内主要都市でオフィスビルの開発、賃貸、運営管理業務を展開。



生活産業不動産事業

大都市圏を中心に、日本全国で商業施設・アウトレットや物流施設を開発。



ホテル・空港事業

ロイヤルパークホテルズグループとして国内でホテルを展開。また、空港の民間運営事業を開始。



住宅事業

分譲マンション事業「ザ・パークハウス」、賃貸マンション事業「ザ・パークハビオ」ブランドを展開。



海外事業

米国・英国を中心にオフィスビル等の開発、賃貸事業を展開。また、アジアでのプロジェクトも展開。



投資マネジメント事業

投資家向けの不動産投資に関する各種サービスを提供。



設計監理事業

三菱地所設計が建築・土木工事の設計監理業務等を展開。



不動産サービス事業

三菱地所リアルエステートサービスが不動産仲介、駐車場事業等を展開。

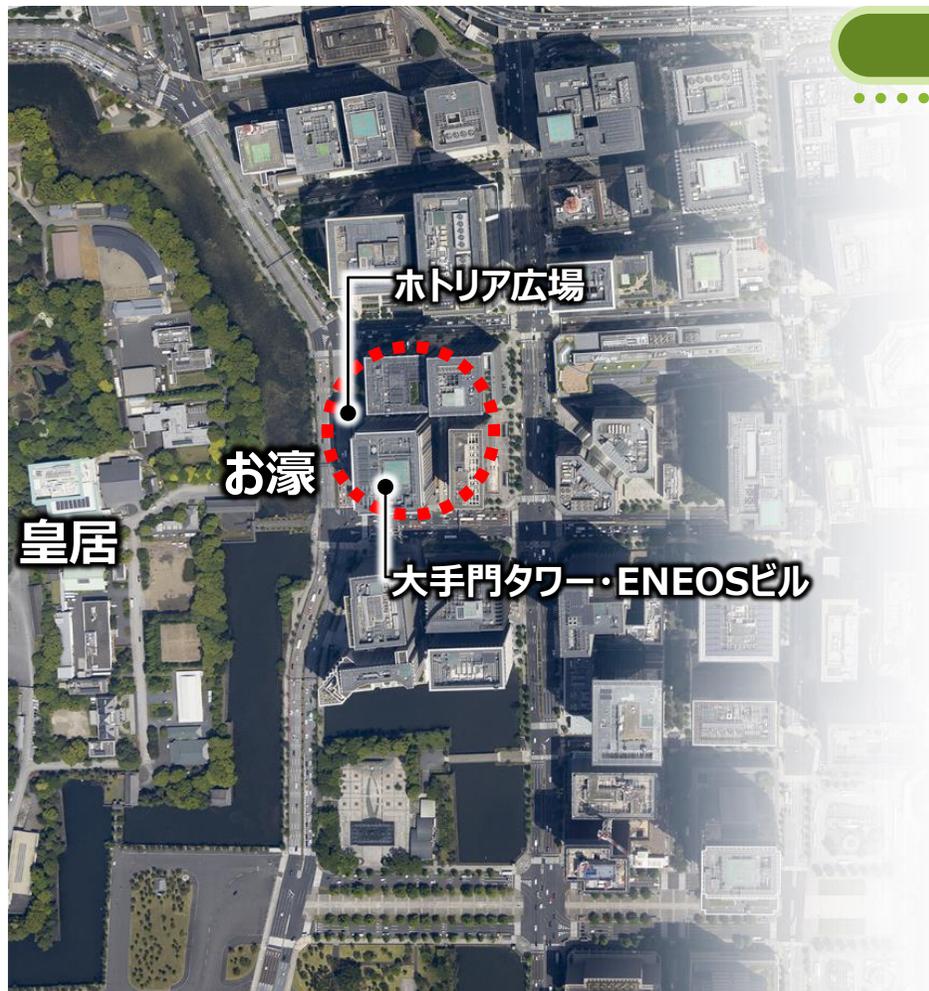


2. 三菱地所グループとSDGs/ESGの考え方



3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

① 下流（事業地）の取組：お濠の水質浄化・濠プロジェクト



ポイント

自然調和型社会の形成

- ① **お濠の水質浄化**：皇居外苑濠に隣接する大手門タワー・ENEOSビル（大手町1丁目）に、官民連携で皇居外苑濠の水質を改善するため、浄化施設を導入。また、お濠の水位低下を避けるため、貯留槽（約3000 m³）を整備し生態系の改善に寄与。
- ② **濠プロジェクト**：生物多様性の保全と再生を切り口に、皇居のお濠と大丸有エリアの歴史を、今、そして未来へとつなぐプロジェクト。
- ③ **ホトリア広場**：大手町パークビルと一体で、環境共生型緑地を整備（約3,000m²）。自然共生サイトに認定

HOTORIA
OTEMACHI



3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

お濠の水質浄化～貯留浄化施設による水質改善

- お濠の水質が問題に。
- 官民連携での取り組みを実施



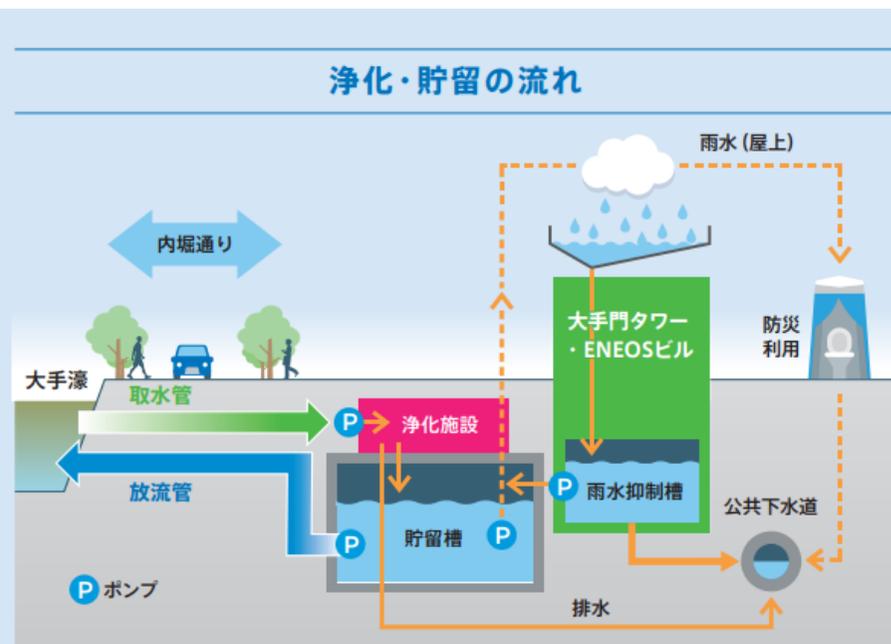
検討開始時のお濠の状況

(環境省ホームページ「皇居外苑濠 濠環境保全の取組」内「皇居外苑濠の水循環」を基に作成)

3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

お濠の水質浄化～貯留浄化施設による水質改善～

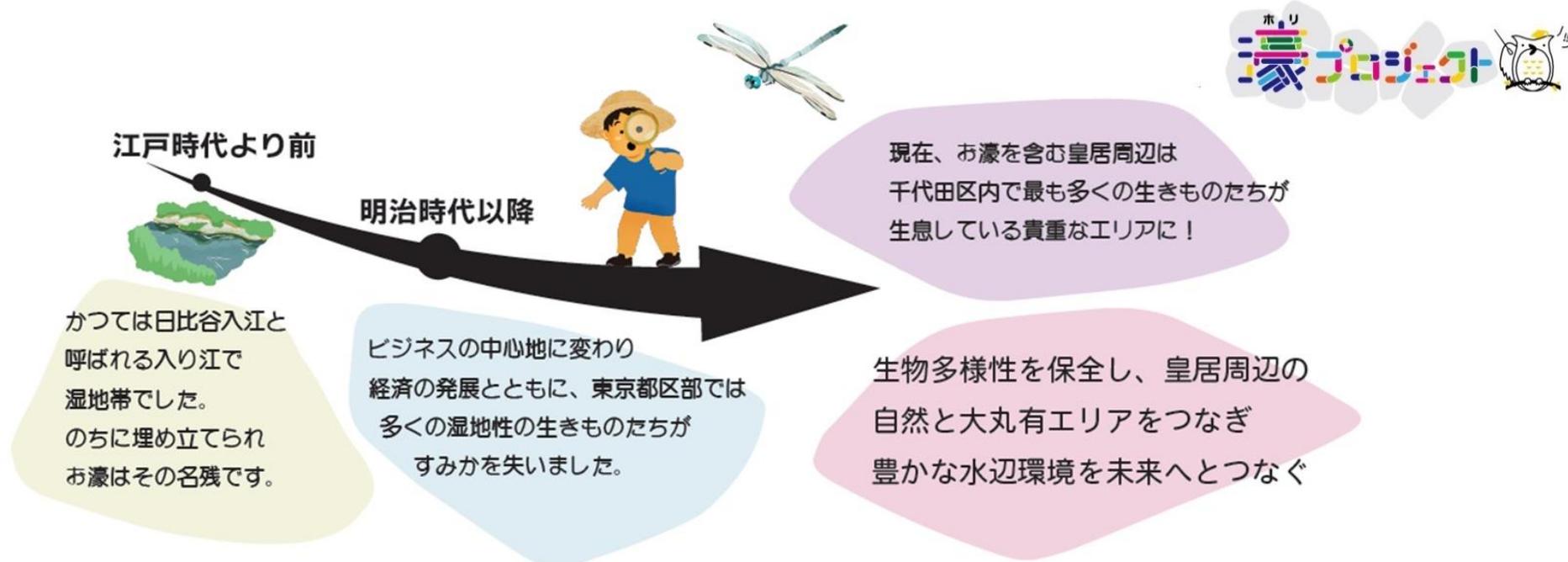
- 大手門タワー・ENEOSビルにお濠の水質改善のための貯留浄化施設を導入(民間初)。
- 浄化施設の予定浄化量は約50万m³/年。
- お濠の水位低下を避けるため、巨大な貯留槽(約3000m³)を整備。
- **お濠の浄化によって在来種や希少な水草などの生態系の改善に寄与するほか、皇居と一体となった貴重な水と緑の空間ないし都市の美観を改善し、環境と観光資源の両面で、都市の魅力の向上に貢献。**



3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

濠プロジェクト

- 生物多様性の保全と再生を切り口に、皇居のお濠と大丸有エリアの歴史を、今、そして未来へとつなぐプロジェクト。
- 環境省皇居外苑管理事務所と三菱地所株式会社が協定を結び、公益財団法人日本自然保護協会などの専門機関と連携して、2018年（平成30年）より活動しています。



3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

濠プロジェクト

- 大丸有エリアの緑地や水辺を生かして、皇居のお濠の泥の中に眠る埋土種子から水草を再生し、お濠に生息する生きものの保全や誘致、普及啓発に取り組んでいます。
- 皇居のお濠で採取した泥から、11 種の水草の再生に成功しています。このうち 6 種は現在のお濠で生育が確認されていない種であり、そのほとんどが東京都や環境省のレッドリスト掲載種です。



エビモ
絶滅危惧Ⅱ類
(東京都レッドリスト都区部)
お濠の中での生育が確認されている。水槽内の株は桜田濠の泥から再生されたもの。



ホザキノフサモ
絶滅危惧Ⅱ類
(東京都レッドリスト都区部)
お濠の一部で生育が確認されている。当社大手門タワー・JXビルのお濠の浄化効果で増えている。



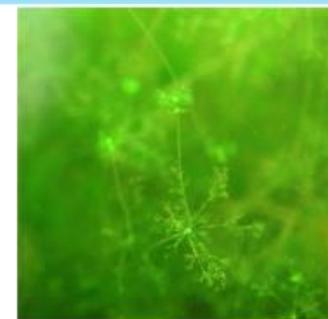
クロモ
準絶滅危惧種
(東京都レッドリスト都区部)
水槽内の株は千鳥ヶ淵濠の泥から再生されたもの。



コウガイモ
絶滅危惧ⅠA類
(東京都レッドリスト都区部)
水槽内の株は日比谷濠の泥から再生されたもの。



シャジクモ
絶滅危惧Ⅱ類
(全国版レッドリスト)
水槽内の株は桜田濠・千鳥ヶ淵の泥から再生されたもの。



フラスコモ類
水槽内の株は桜田濠・千鳥ヶ淵の泥から再生されたもの。

皇居お濠内の生育の確認あり

泥の中で種子・胞子の状態で休眠している

3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

濠プロジェクト～増えすぎた水草（菱）をたい肥に～

- お濠に繁茂した水草〔菱〕を景観維持や生物多様性保全のために刈り取り、一部をたい肥の原料として活用し原料として活用。
- たい肥は山梨県の農家さんの手に渡り、環境と人に優しい有機野菜として、楠公レストハウスや三菱地所ホテルズ&リゾート、丸ノ内ホテル、三菱地所関連施設などで提供されています。



3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

②上流の取組：みなかみから始まるネイチャーポジティブプロジェクト

きっかけは・・・

流域



出典：<https://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/project.html>

3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

②上流の取組：みなかみから始まるネイチャーポジティブプロジェクト

みなかみ町とは

- ・群馬県最北部に位置し、町の約90%が山林。
- ・利根川の源流。利根川の水の一部は武蔵水路を經由し荒川に流入。
(丸の内を含む首都圏 3 千万人の水を供給)
- ・ユネスコエコパークにも登録されており、
日本における生物多様性保全の最前線の地。



3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

②上流の取組：みなかみから始まるネイチャーポジティブプロジェクト

人を、想う力。街を、想う力。

 **三菱地所**

 **みなかみ町**
MINAKAMI TOWN

 **日本自然保護協会**

2023年3月1日

報道関係各位

三菱地所株式会社
群馬県みなかみ町
公益財団法人日本自然保護協会

**国内初、企業版ふるさと納税を活用し
群馬県みなかみ町でネイチャーポジティブに向け
新たな活動を始動**

三菱地所・みなかみ町・日本自然保護協会の3者で連携協定を締結

期 間：2023年3月～2033年3月末（協定期間）



3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

②上流の取組：みなかみから始まるネイチャーポジティブプロジェクト

5つの主な活動

- 01 生物多様性が劣化した人工林を自然林へ転換する活動
- 02 生物多様性豊かな里地里山の保全と再生活動
- 03 ニホンジカの低密度管理の実現
- 04 Nbs（Nature-based Solutions）の実践
- 05 生物多様性保全や自然の有する多面的機能の定量的評価への挑戦と活用

3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

5つの主な活動

- ① 生物多様性が劣化した人工林を自然林へ転換する活動
イヌワシやクマタカなどを指標種に生物多様性が回復基調にあると科学的にもいえる森林を約80ha創出



管理の行き届かなくなった人工林を自然林へ復元

イヌワシやクマタカを指標種に



10年で80haを目標

3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

5つの主な活動

② 生物多様性豊かな里地里山の保全と再生活動

みなかみ町の里地里山を舞台に、ため池の外来種防除などに取り組み、生物多様性豊かな里地里山の保全と復元を目指します。



耕作放棄地、外来種、泥の堆積などが課題

Minakami Biosphere Reserve
Minakami Biosphere Reserve
かいはりてネイチャーポジティブ!
外来魚捕獲ボランティア

みなかみ町ではユネスコエコパークの理念の体現を推進するとともに、2023年から公益財団法人日本自然保護協会・三郷地所株式会社と連携協定を結び、生物多様性の損失に阻止めを向け、自然回復に取り組む「ネイチャーポジティブ」社会の実現を推進しています。

現在の堰敷地は外来魚オオクチバスとコイが生息し、在来生物の生息環境が悪化しています。かいはりてこれらの外来魚を取り除き、水辺の環境を改善させましょう。

**2023年
10月14日(土)
9:30~12:00**
荒天中止

参加申込 2023年 10/9 (月)
締切

WEBフォームより
お申し込みください
<https://logoform.jp/form/tz/388373>

場所：堰敷ため池
(上毛高原新西ホテル館内コース内)
対象：小学3年生以上
(小3,4年生は保護者同伴)
定員：30名 事前申込制
※先着順多数の場合は抽選になります。町内の方も優先して受け入れます。
持ち物・服装：
泥汚れしても良い服装、長靴や雨長靴、
軍手またはゴム手袋、あれば、バケツとタモ網

氷を積んだ池に入って、
外来魚を捕まえます

タモ網や手袋を使って捕まえます。
全身が濡れずにはいられないかも?!

みんなで楽しく、
ネイチャーポジティブ!

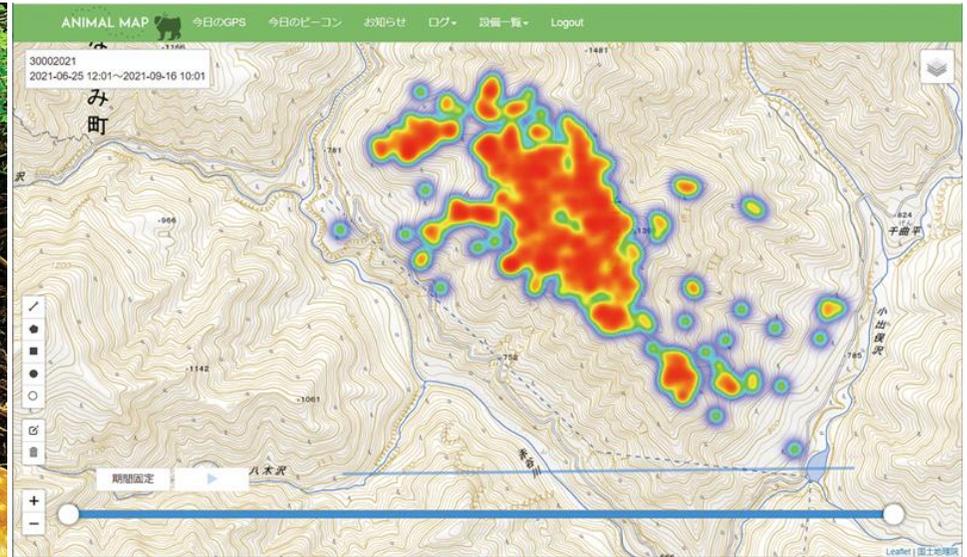
主催：みなかみ町役場自然課 共催：(公財)日本自然保護協会、認定NPO生協工場 運営・報告：みなかみ町役場自然課 0278-25-5032

3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

5つの主な活動

③ニホンジカの低密度管理の実現

シカの行動を把握して、低密度下における効率的な捕獲技術と捕獲体制の構築を目指す。森林生態系のバランスを保ち、生物多様性の損失や水源涵養機能などの劣化を防ぐ。



3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

5つの主な活動

④NbS（Nature-based Solutions）の実践

①～③までの取り組みを通じて、生物多様性を活かした防災・減災、水源涵養、獣害対策、持続的な地域づくりなど、NbSを実践していきます。



利根川源流のまち 水と森林と人を育む
みなかみユネスコエコパーク



わたしたちは、人と自然が共生する社会の世界のモデルであるユネスコエコパークの価値を知り、みなかみを「まもりいかしひろめる力」を育て、みなかみユネスコエコパークとSDGsのまちづくりをすすめます。



NbSの根幹をなす

8つの世界標準とは

NbSは英語圏では小学生にもイメージが伝わる言葉。そのため誤解も多数生まれたのをうけ、IUCNは2020年に、ポイントを理解するための8つの基準を公表した。この基準を順守した活動だけが、NbSというべきものとなる。



3. 流域を意識したネイチャーポジティブに向けた取組

5つの主な活動

⑤ 生物多様性保全や自然の有する多面的機能の定量的評価への挑戦と活用

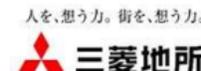
研究機関や大学等とも連携し、国際的な先駆事例にもなり得る生物多様性の評価手法を開発して定量評価に挑戦。

- ・ 生物多様性を測定可能なかたちで回復させるのが世界の流れ。

- ・ 測定（数値化）の議論は世界的にもまだ途上。

- ・ 世界的にも課題になっている、なんちゃってネイチャーポジティブ（ネイチャーポジティブウォッシュ）にさせない。

- ・ 第1弾の結果についてプレスリリースを公表



報道関係各位

2024年7月8日

群馬県みなかみ町
公益財団法人日本自然保護協会
三菱地所株式会社

ネイチャーポジティブ実現に向けた、生物多様性を客観的に評価する6つの手法を策定
GBF や TNFD など世界の動きとも連動
みなかみ町・日本自然保護協会・三菱地所の3者連携活動成果

2024年7月8日

https://www.mec.co.jp/news/0708_1.pdf